

8月25日(土)は ふるさと祭り

ふれあい 第18号

夏といえは“祭り”!!
祭りといえは“ふるさと祭り”



夏休み恒例の“ふるさと祭り”が今年も夏を飾るべく、開催されます。野木町おはやし保存会や太鼓おはやし(教室の受講生による上演などで楽しく納涼祭を行います。また、子ども向けのゲームでは参加賞も用意しています。おはやしに聞き入ったり、踊りの輪に加わったりと、それぞれの楽しみ方で、今年の夏を思う存分、満喫してください。



日 時 8月25日(土)
午後6時~9時
場 所 町役場駐車場
(雨天時 体育センター)
主 催 ふるさと祭り実行委員会

公民館掲示板、展示のお知らせ

1階ロビーの掲示板には、町内、町外のイベント情報などが掲示されています。2階では、掲示板と穴あきパネルを利用して作品の展示ができます。(利用申請が必要です。)また、階段の壁には各小・中学校の生徒さんの美術作品も展示してあります。



「公民館 館報ふれあい」の記事
に関する問い合わせ先
野木町公民館 ☎(57)4188

公民館講座アンケートのお願い

公民館では、町民の皆様のさまざまな学習ニーズにお応えしていくひとつの方法として、公民館で行う講座に関するアンケートを実施しています。ご意見・ご協力お願いします。

アンケート用紙は、4月末に全戸配付いたしました。「生涯学習ガイドブック」の巻末の八ガキをご利用ください。

公民館のカウンターにあります集計ボックスへ投函してください。

分館から

野木

文化研修(野渡地区)



6月10日、文化研修の「世界の名画鑑賞」と「皇居東御苑の見学」に参加しました。40名が参加し、車中では和気あいあいの内に皇居に着きました。花菖蒲が見事に咲いている東御苑の天守台、松の廊下跡など散策し、昼食はお堀端のパレスホテルにてランチをいただきました。その後、目下話題になっている東京国立博物館で開催中の「レオナルド・ダ・ヴィンチ」の絵画を鑑賞しました。大変な人気で、長蛇の列、約30分待ち状態でし

たが、展示品の「受胎告知」の作品の前では、感嘆の声がまわりからあがっていました。私も作品の魅力を堪能し、名画を間近に見られ、とても感動しました。3時に博物館を後にし、大変有意義な文化研修に皆さん満足された様子でした。次回の文化研修に期待して、またぜひ参加したいと思えます。

友沼

老人スポーツ大会



からつと晴れ上がった6月17日に、第一回老人スポーツ大会が種目を増やし開催されました。グランドゴルフに4チーム、個人戦に27名、ペタンクに3チーム、輪投げに3チームが参戦し

ました。日頃より慣れ親しんでいる方々ばかりなので、すぐに試合開始となりました。広いグランドを「サツサツ」と歩き、暑い中、最後まで集中力を切らさず、真剣に競技する姿に役員の方も励まされたようです。グランドゴルフでは、ホールインワンが2回も出るなど歓声が上がっていました。大変楽しい一日となりました。

新橋

お楽しみ会

6月20日、ホープ館において、分館主催の「お楽しみ会(70歳以上)」が開催されました。午前10時より、副町長、公民館長の挨拶をいただき、その後、傘寿者(17名)に記念品の贈呈を行いました。

式典が終わり、第二部の演芸会では、司会者が事前に出演団体の方々と話し合い、その団体の特徴をとらえ、会場のムードづくりに一役買いました。プログラムは民謡、オカリナ、フラダンス、演歌、舞踊、カラオケなど次々と披露され、常日

頃の練習の効果が随所にみられ、生き生きと舞台狭しと動き回っている姿が印象的でとてもすばらしい舞台となりました。今年も演芸途中、お楽しみ抽選会を行いました。皆、一喜一憂しながら楽しんでる人が大勢いましたが、途中で帰ってしまった方もいてとても残念でした。

最後に区長、自治会長などのご協力で143名の参加者を募っていたいただきありがとうございます。また、出演団体、スタッフの皆様、暑い中大変ご苦労様でした。

このように皆様のご支援を得、分館行事の一環としてこれからも「お楽しみ会」を続行して行こうと痛感いたしました。



サークル紹介

文化協会 歌謡部

親和会



親和会：永い歴史を持つている会です。町公民館を会場に月3回、小川啓子先生の指導の下で、時には厳しさがあっても和気あいあいと練習に熱を入れています。お腹からの発声に楽しく、癒される空間もまたオツなものですよ。

親和会も今や町文協会の花形サークル…かな!? ひまわりフェスティバル、文化祭、歌謡部合同発表会、民踊舞踊部とのおさらい会などの活動を展開。他市

町への出演、慰問にも参加し、年に3〜4回、花見やらカラオケハウスなどでの談笑に大輪を咲かせています。

もちろん会員随時募集中。1度のぞいて見てはいかがです!

練習日 月3回(木曜日)

午後6時〜10時

町公民館

連絡先 須田 栄

☎(55)1881

フラダンスサークル フラオ・ラウレア



ハワイアンソングにのって、優雅に、笑顔で楽しむ「ダンス」です。3月にスタートしたばかりのサークルなので会員数は少ないですが、和気あいあいと

「明るく・楽しく」をモットーに気持ちのいい汗をかきレッスンに励んでおります。優しい動きなので、どなたでも楽しんでいただけたらと思います。

「明るく・楽しく」をモットーに気持ちのいい汗をかきレッスンに励んでおります。優しい動きなので、どなたでも楽しんでいただけたらと思います。

「フラダンス」で心と身体をリフレッシュしませんか? ぜひ、見学にいらしてください。お待ちしております。

練習日 第1・2・3月曜日

午前10時30分〜12時

ホープ館

連絡先 高畑

☎(56)2564

コーラス コーロ・ブリランテ

子どもを連れて若いママさんからシニアまで幅広い年齢層のお母さんが和気あいあいと楽しくハモっているグループです。ユーモアあふれる先生のご指導で笑いが絶えない2時間は、日頃のストレスを忘れさせ、また、頑張ろうという気持ちになること請合いです。

今年の活動は、3月に栃木県大会、7月に山梨県での関東大会に出場しました。まずは、気

楽に見学に来てください。お待ちしております。

練習日 毎週金曜日
午前10時〜12時
町公民館

連絡先 森内 美智子

☎(57)2287



【おしらせ】

サークル、クラブ紹介してみませんか

公民館、町体育センター、町施設などで活動している団体の方でご希望がございましたら、館報編集委員会事務局までご連絡ください。

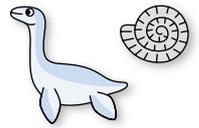
☎(57)4188

掲載につきましては、編集委員会で検討し、決定させていただきます。



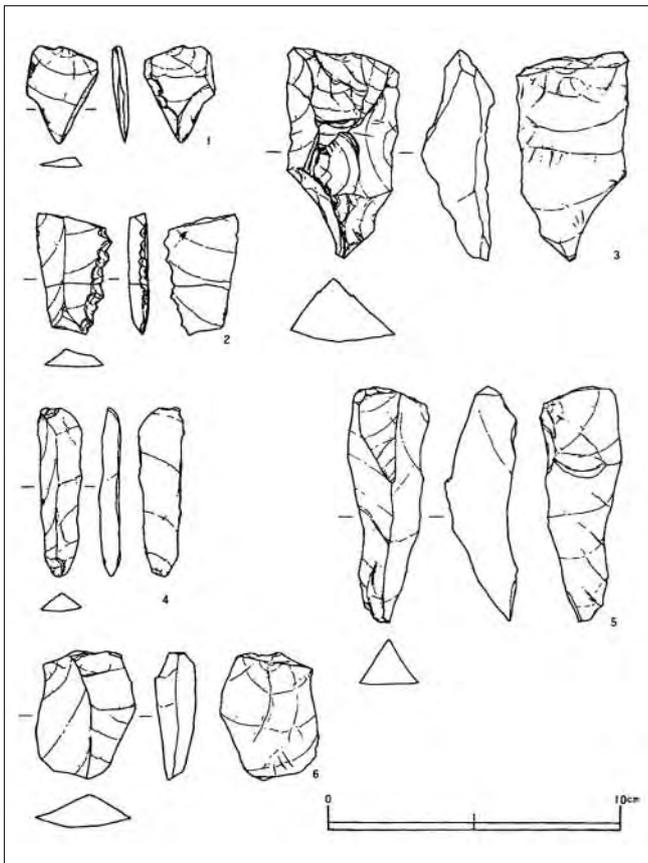


歴史の散歩道



「歴史の散歩道」と題しまして“野木町の歴史紹介”(全6回予定)をこのページで特集しています。読者の皆さんといっしょに、楽しみながら、野木町の生い立ちを知っていきたいと思います。なお、この記事は、野木町郷土史研究会のご協力をえて、寄稿していただいたものです。

第2回 人はいつ頃から野木に住んだのでしょうか



野木 遺跡出土石器図 野木町史歴史編より
(資料提供 栃木県文化財振興事業団)

氷河期の日本列島は大陸と陸続きであったので、ナウマンゾウ・オオシカ・野牛などの動物を追って大陸から人が移住してきたとされています。最終氷河期の最盛期以降約1万8千年前ごろから徐々に温暖化が進み、約1万1千5百年前には常緑針葉樹林の広がっていた地域に落葉広葉樹林が拡大していきまし

た。この時期にはナウマンゾウやオオシカは絶滅し、ニホンシカやイノシシが現れました。その後温暖化はさらに進み、約8千5百年前頃には日本海に暖流が流れ込み、日本列島は照葉樹林と落葉広葉樹林におおわれ、現在の姿になったようです。約8千年前からは海面上昇が急速に進み、約5千年前〜6千年前には鬼怒川や古利根川の浸食谷に海水が侵入し、奥東京湾・鬼怒湾が形成されました。これを縄文海進あるいは有楽町海進と呼んでいます。この時期の奥東京湾が現在の谷中湖周辺で本新田辺りまでが海であったと思われる。

野木に人が住んだのは旧石器時代のようで、その時代の遺跡が昭和63年7月、県営畑地帯総合土地改良に伴う、栃木県文化振興事業団による発掘調査で、ひまわりフェスティバル会場南側の野木会館前の道路を古河市に向かつて約100m進んだ道路西側の畑から発見されました。「野木 遺跡」と呼ばれるこの遺跡では、田原ローム層(上層が約1万2千年前、基底が約2万4千年前と推定されている)の中からナイフ形石器・搔器・石刃状剥片・剥片など約30点が直径3mほどの範囲から出土されています。石質は搔器が石英かメノウ、その他は安山岩やチャート(放散虫の遺骸が深海底で固結した化石)でした。石器時代を代表する石器はナイフ形石器などですが、この遺跡の発見により、約1万2千年前の野木の台地で人類が活動していたことが確認できます。県南の旧石器時代の遺跡としては小山市出井の本郷前遺跡・栃木市北部の星の遺跡などがあります。

(軽部重夫記)

次回は、縄文時代の遺跡紹介」を予定しています。